



4月5日から営業を開始した木造3階建ての新社屋「ウッドガーデン」において、エクステリアの設計と施工管理を担当した。

今回の取り組みについて、「構造体そのものに大きなインパクトがあったことから、エクステリアは構造体の設計を引き立たせるため、自然な修景をテーマに、控えめながら周囲にはない環境の構築を目標した」と説明する。

ものづくりや住宅に携わる仕事に興味があったことから大学では建築学部で学ぶ。卒

業後、ポラスグループに入社し、13年目を迎える。

最初の1年間は営業を経験したが、「いまでも、そのときのお客様とは交流があるん



新社屋建設に際してエクステリアの設計と施工管理を担当

ポラスガーデンヒルズ設計部  
街並デザイン室マネージャー  
松井孝治さん

休日は自宅の庭で、小学生のお子さんと草花を植えるなど庭いじりを。果物の実がなるのが待ち遠しいという

ですよ」と笑顔に。

現在はエクステリアの現場管理をメインに、建物とエクステリアの一体設計による分譲地提案を行っている。

「これからも地域に愛着をもって住んでもらうためには、どのような外構やエクステリアを展開するべきか考えていきたい」と思いを語る。

新社屋のアプローチ前には、坂倉利昌社長はじめ社員が低木や草花を植樹した。社員一人ひとりが「これから長い時間を共有する社屋に愛着を感じてもらいたい」との思いを込めた。そして植物の生長に合わせるように、社員の結束が育まれていくことを願っているという。(A)